

2018年度

事業報告書

公益社団法人 岡山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best
be won by free men through free
enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humanity is the
best work of life.



ミッション J C I MISSION

トゥ プロバイド デヴェロップメント オポチュニティーズ
To provide development opportunities
ザット エンパワー ヤング ピープル
That empower young people
トゥ クリエイト ポジティブ チェンジ
To create positive change.

J C I の使命

青年が積極的な変革を創造し開拓するために
能動的な活動ができる機会を創造する。

《2008年》

J C I VISION

To be the leading global network of young
active citizens.

J C I ビジョン

青年の行動的市民活動を支援する国際的な
ネットワークをもつ先導的機関となる。

J C 宣 言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

〈2001年10月12日 第50回 全国会員大会大阪大会 承認〉

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

〈1960年12月総会決定〉

岡山JC三信条

- 修 練** 岡山 J C は、青年経済人として郷土の経済発展に貢献し、企業を基盤として社会貢献を
行い、不易と流行を常に意識し、行動に移すべく、自己修練を行う団体である。
- 奉 仕** 岡山 J C は、快適で活力あるまちづくりができる人材を育成する団体である。
- 友 情** 岡山 J C は、志の基に集まった会員相互が、青年会議所運動を通して、切磋琢磨し、真
の友情を培う団体である。

「21世紀における岡山青年会議所のあるべき姿」
〈1999年1月14日 第1回定時総会承認（内容同上）〉
「岡山JC三信条」

〈2009年11月4日 総会承認〉
（実施期間2010年1月1日～2014年12月31日）

2018年度スローガン

J C I スローガン

Be Better.™

公益社団法人日本青年会議所 スローガン

感謝の心を以て、誠を尽くそう
～限りなき可能性を信じて～

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会スローガン

未来を切り開く人材の育成と
経済再生による
地域の力漲る中国の実現

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会スローガン

「和」の精神性が導く
「個」と「個」が調和する
おかやまの実現

公益社団法人岡山青年会議所スローガン



〔目 次〕

I 事業報告	3
理事長、副理事長、専務理事、常任理事、監事	
II 組 織	8
1. 会 員	8
2. 組 織 図	10
III 出向者報告	11
IV 委員会活動報告	18
V 会 議	20
1. 総 会	20
2. 理 事 会	21
VI 例 会	24
VII 諸 事 業	25
VIII 褒賞関係	26



基本理念 若者らしい先見性をもって、郷土おかやまに共感の輪を広げる運動をし、岡山青年会議所をパワーブランドとして確立しよう。そして、進取果敢な挑戦を続け、誇りあるまちおかやまを実現することで、郷土にもっとも求められる存在となろう。

基本方針 礼儀礼節を重んじ、利他の精神を持ち、どんな困難にも屈しない気骨をもつ自立したリーダーとして大きく成長しよう。変革の時代に相応しい目的意識をもった手法によるひとづくりに挑もう。

市民が誇りに想えるまちを実現するために、おかやまにしかない魅力と価値を見出し、様々な団体と手を携え、誰もが共感できる事業を展開しよう。共感の輪を広げ、若者が夢を描けるおかやまを創出しよう。

利他の精神で、卓越した「礼儀礼節」・「おもてなし」を体現することにより、友情を育む心地良い空間を創出しよう。成長を実感できる機会を提供し、活力を生み出せる効果的な場を確立しよう。

岡山青年会議所を、おかやまのまちのパワーブランドとして確立するために、共感を得られる運動を行い、広く発信しよう。社会的信用のある団体として組織運営をおこない、郷土にもっとも求められる存在となるよう、岡山青年会議所をブランディングしよう。



I 事業報告

理事長 青木 浩平

2018年度岡山青年会議所は、誇りあるおかやまを実現し、郷土に最も求められる存在となることを目的とし活動させていただきました。その中で、市民、行政、企業の多くの皆様に、多大なるご支援とご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

今、日本の各地方都市は人口減少に伴う超高齢化社会に突入しています。これは避けては通れない現実であり、このような状況の中で青年である私たちに何が出来るのか。昨年の準備段階で、そのことを常に考え続けてきました。導き出した答えは、若々しく、先見性を持った青年である私たちが、地域の持つ課題に対し、今まで誰も考えたことのない手法で、果敢に挑戦し解決していくことでした。しかしながら、いくら良い手法を考え付いても、私たちが行う運動・事業がひとりよがりになってしまえば、私たちの思い描く理想は現実となりません。一人でも多くの市民・行政・企業の方々に私たちの考えに「共感」していただくことが必要であると考え、1年間活動させていただきました。

今年度まちづくり事業であるキッズビジネスパークでは、若い世代が夢を描けるまちの創出をテーマに、実施させていただきました。本年度で5回目となり、今年もコンベックス岡山で1,000人を超える児童の皆様にご参加いただき、開催いたしました。ご参加の児童の皆様に、自分たちの住み暮らすおかやまのまちに多くの素晴らしい企業がある事、そして仮想社会ではありますが、労働し対価を得、納税し消費を行う、社会の仕組みを学んでいただけたのではないかと考えており、また、実社会には自分になりたい仕事だけではなくその他の仕事が多くあり、社会が成立っていることも同時に学んでもらえたのではないかと確信しております。

また、どんぶらこプロジェクトでは、おかやまにしかないポテンシャルの高い地域資源を掘り起こし、新たな人の流れを生むことを目的に実施させていただきました。交通の結節点で利便性の高い郷土おかやま。新たな人の流れを生むためには、おかやまにしかない桃太郎というコンテンツを使い、おもしろさ、楽しさを追求して行くことが必要でした。今後桃ポートがおかやまに住み暮らす人、そしておかやまを訪れる観光客に愛され続け、SNS等で日本全国、そして世界へと広がっていくことで、多くの観光客におかやまへ足を運んでいただき、そして、まちが活性化して行くことを願ってやみません。

その他多くの事業を展開させていただきましたが、多方面にわたりご支援・ご協力をいただきました関係各位、そしていつも後輩を温かく見守って下さった特別会員の皆様には心より感謝申し上げます。

この1年間事業において、新たな手法を持って果敢な挑戦を繰り返した現役会員の皆様には、意義深い1年を共に送らせていただいたこと、そして一生涯忘れる事のない1年としていただいた事を心より感謝申し上げ、事業報告とさせていただきます。



副理事長 野 上 昌 範

本年度は、岡山青年会議所の根幹であるひとづくり室会員研修委員会副理事長、兼委員長という大役を拝命し担当させていただきました。青木理事長から大切な新会員をお預かりし基本に忠実に青年会議所の所作を身につけていただくとともに時代に即した手法を用いて新会員の為になる研修をおこなって参りました。

会員拡大の成果として前期新会員15名、後期新会員7名をお預かりしましたが、それぞれ半年の間スタッフと真剣に向き合い挑戦し続けてくれました。また、そんな新会員の為だけに献身的に1年間向き合い取り組んでくれた研修スタッフにも感謝しております。

研修カリキュラムは例年通りでしたが、目的を変えずどのような独創性を仕込むことができるか、その上で例年以上の成果を得る為にはどうすればいいか試行錯誤が続く中で各種事業への参加も能動的に進めることが出来ました。特別会員の皆様、現役会員の皆様におかれましては、会員研修委員会にご支援ご協力、ご指導ご鞭撻賜りまして心より感謝申し上げます。今後も郷土おかやまのために必要な青年経済人として活躍できる人財となるように責任をもって見守ることをお約束申し上げ本年度の事業報告とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。



副理事長 岸 紘 史

本年度、まちづくり室担当副理事長として「共感溢れる地域の創出」に取り組んで参りました。担当させていただきました共感溢れるまちおかやま創出委員会では、「どんぶらこプロジェクト」と題し、おかやまの新しい観光資源となる桃ボートの製作と、今年で5回目の開催となる青少年育成事業「キッズビジネスパーク」の2事業を担当いたしました。まちづくり委員会では、今年で25回目の節目となる「うらじゃ」の開催支援と運営、ディズニーパレードの実施を担当いたしました。両委員会のすべての事業において、市民、行政、他団体、企業、学校と多くの方々と協力し、青木理事長の掲げられていた「共感」の輪が広められたと感じております。多くの問題や課題もございましたが、真摯に受け止め、検証と引継ぎをしっかりと行うことで今後の岡山青年会議所の事業の発展に繋げて参ります。

1年間多くの特別会員、現役会員の皆様にご支援ご協力を賜りましたこと、心より深く感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



副理事長 小 林 佑 輔

本年度、青木理事長のもと、杉委員長率いる「渉外委員会」と金沢委員長率いる「例会委員会」の2委員会を担当させていただき、これからの時代の在り方を的確にとらえながら、岡山青年会議所が大切にしてきた「礼儀礼節」・「おもてなし」を体現するべく活動をしてまいりました。

渉外委員会では、出向者支援ナイト、他LOMとの交歓会開催を通し、常に利他の精神を持ち、相手に感動を味わってもらうことを自分の喜びとし、より洗練された「友情」を育める空間を創り出すことができました。例会委員会では、毎月の例会や市民公開例会の開催を通し、自己成長を実感できる機会を創出し、人生の活力となる場を提供することができました。事業を通し、両委員長の素晴らしいリーダーシップのもとメンバーも成長できたと確信しております。

最後になりますが、特別会員、現役会員にご支援ご協力を賜りましたこと心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



専務理事 古 市 聖一郎

本年度、青木理事長より専務理事という大役を拝命し、LOM全体のバランスをとること、また総務室の担当として努めて参りました。

専務理事としましては、青木理事長の掲げられる理事長所信に基づき、各委員会の進む方向が正しいのかどうかをチェックし、各副理事長と調整をして参りました。また青木理事長と行動を共にすることで、日本、地区、ブロック、そしてLOMと各場面での岡山青年会議所のリーダーとしての動きを間近で見させていただき、自分自身にも大きな刺激と学びをいただく1年間となりました。

総務室の担当としましては、仲村常任理事と共に岡山JCパワーブランド確立委員会としての会員拡大活動と総務委員会の担当をさせていただきました。仲村常任理事が地区の副会長として出向されて忙しい中、石井、高山両委員長が本当に委員長としてしっかりとパフォーマンスを発揮していただき、多くの会員数の獲得、また総務委員会としての全体のコントロールができました。

最後に1年間ご指導いただきました青木理事長、支えてくれた仲村常任理事と石井、高山両委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げます、事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



常任理事 磯 島 慈 海

本年度の交流室は青木理事長のもと、同じ方向を向いてはいるが対照的な副理事長と常任理事、極めて両極端な委員長2人の体制で始まりました。更に委員長を支える幹事は委員長と真逆の性格であり、岡山青年会議所が培ってきた成長が育まれる体制が凝縮されたような組織を1年間しっかり謳歌させていただきました。

どうなるものかと思いましたが、『共感から生まれる至高の場の創出』へ向け杉委員長、金沢委員長のもとで事業ごとに結束が強固になる両委員会メンバーに大活躍をしていただき助けをもらい1年となりました。渉外委員会には気づきや学びが得られるよう熟慮し、相手の趣味嗜好を調べ、心地良い時間を共有できる交歓会を多々設営していただき、例会委員会には岡山青年会議所の歴史と礼節を重視し、メンバー同士の貴重な時間を使うことにこだわりをもった、学びや友情を育む効果的な設営をしていただきました。

所属会員のこと、参加していただく方をしっかり考え、時代に即した交流の場を創出し、かけがえのない時を皆様と共有できたことで交流室という役割を全うできたと考えています。これも偏に小林副理事長の指導力と両委員長の支えによるものと心より感謝いたしております。

そして、1年間、関係各所と特別会員の皆様より多大なご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。



常任理事 仲 村 陽 平

本年は総務室常任理事の役職を青木理事長より賜り、この一年を駆け抜けてまいりました。また、何よりも最終年度に執行部として、そしてLOMの要の拡大委員会である岡山JCパワーブランド確立委員会と総務委員会とのパイプ役として、また専務理事を支える立場をいただきました。これに加えて、中国地区協議会の会務担当副会長として出向をさせていただき、青年会議所活動の醍醐味を余すところなく体験できたことに対しまして、多くのメンバーに感謝申し上げます。

私なりにこの5年間に渡る青年会議所活動の中で、最終年度は挑戦の年と考え、中国地区5県を縦横無尽に行き交い、中国地区のために、そして岡山青年会議所のために、この一年をそう位置付けて邁進してまいりました。この一年のなかで、西日本豪雨にも見舞われた地域の統括担当としても色々と経験をさせていただき、通常では得られない学びを得た一年となりました。また、岡山JCのブランド価値を上げる為のPLUG掲載やHP、SNSなどの周知活動、そしてLOMの屋台骨を支えると言われる総務にも関わらせていただき、最終年度を修練だけでなく、奉仕そして友情を育む、そんな一年が過ごせた事を改めて多くの皆様に感謝申し上げます。



監 事 岡 部 憲 一 郎

本年度は青木理事長より昨年度に引き続き監事という大役を仰せつかりました。皆様の会員拡大が実を結び今年度には100名を超える会員数となり、私個人としても入会してから初めての事となりました。しかしながら長年青年会議所に携わってきた方達も卒業に差し掛かり、入会して4年未満の会員が三分の二を超える会員構成となり、その形も長らく続く事が予想され、新たなスタンダードが構築される必要がありました。そういった背景の中で岡山青年会議所の監事として理事長の掲げた理念や基本方針、所信に基づく事業が実施されているかどうか、目的における検証が出来ているかどうか、公益社団法人としての組織運営が達成されるように客観的な視点で監査し、また「不易と流行」についても意識を置いて、理事会に対し発言をさせていただきました。これまで培ってきた経験から意見するだけでなく、出来ていることに対しそこを伸ばせるような発言が出来たかと思います。

例会等においては会員の皆様にご理解、ご協力をいただき、監事として発言をさせていただきました事に関しましてこの場を借りてお礼申し上げます。

この経験を活かし、次年度も岡山青年会議所活動に精進いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



監 事 末 長 一 範

本年度は青木理事長より監事という大役を仰せつかりました。岡山青年会議所の会員数は増加傾向にあるものの、入会歴の浅いメンバーが増加する中で岡山青年会議所の不易と流行を常に意識しつつも、新しい岡山青年会議所のスタイルが確立されればという想いで常に発言をさせていただきました。また、公益法人格を有する団体として常に透明性の高い組織運営がなされるよう、監事として客観的な立場であることを意識し発言をさせていただきました。

青木理事長が掲げられた「共感」とは何なのか、「共感」をどうやって達成するのか、「共感」を得ることで岡山青年会議所がどう評価されるのかということを常に意識して活動をすることで、私自身も多くの学びや気づきを得ることが出来たと感じております。

例会や理事会等では、時に厳しく発言させていただいたこともありましたが、岡山青年会議所の発展を願ってのことだとお許しいただければ幸いに存じます。監事として活動をさせていただきましたことを岡山青年会議所メンバーの皆様へ厚く御礼申し上げます。今回の経験を活かし、次年度も岡山青年会議所の活動に尽力いたしますことをお約束申し上げ、事業報告とさせていただきます。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

(1) 正 会 員

2017年度末会員	92名
2018年度特別会員加入者	12名
2018年度新規入会者	26名
2018年度中途退会者	4名
2019年度特別会員加入予定者	17名
2018年度末会員	102名

退会者 中尾 智洋
三吉 真弘
森 通憲
八重垣 貴王

休会者 木村 治貴

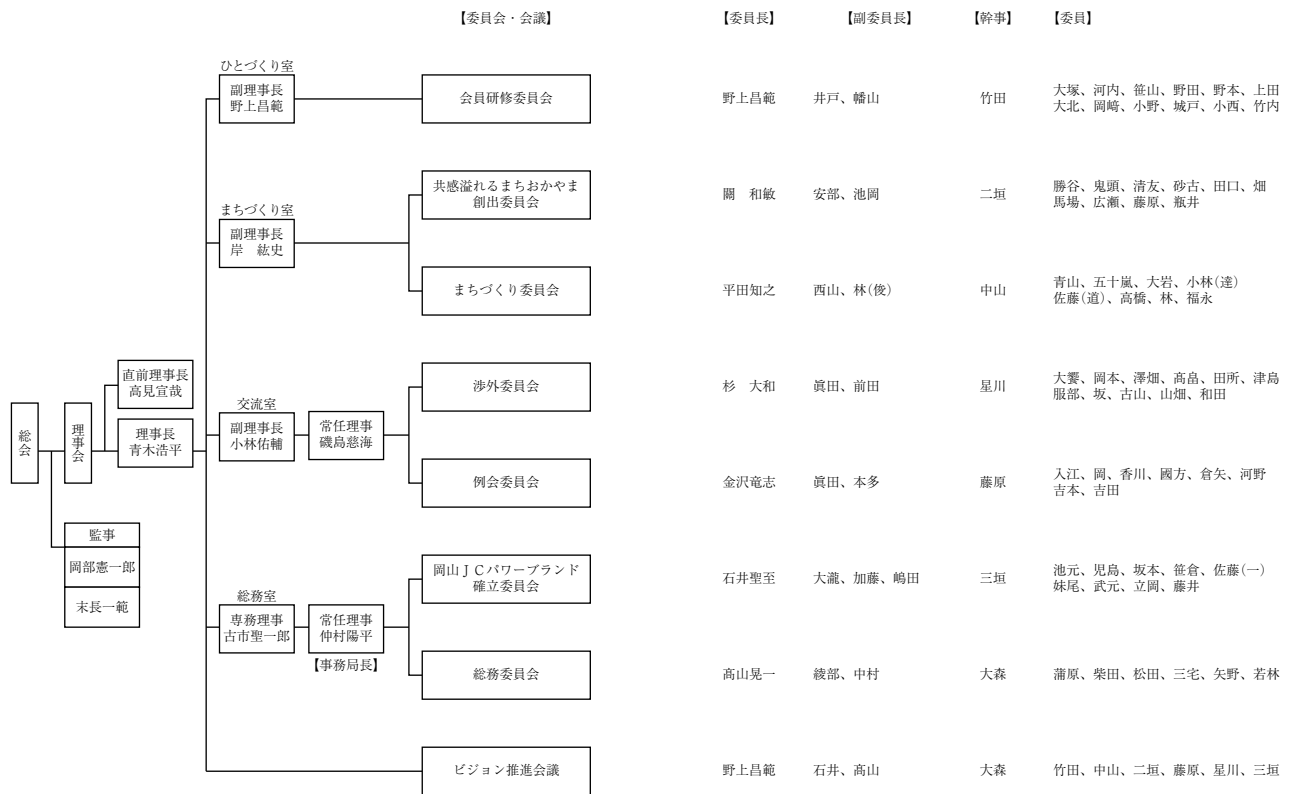
(2) 特 別 会 員

2017年度末会員	776名
2018年度加入者	12名
2018年度物故会員	4名
2019年度加入予定者	17名
2019年1月1日会員	801名

物故会員 福光 富則
三宅 宏昭
生田 量一
能勢 延美

区分	氏 名	勤 務 先	年／月
前期新規入会者	池元 純一	(株)ケイサポ	2018／1
	大塚 真弘	(株)大真	2018／1
	蒲原 智樹	(株)つなぎ建築工房	2018／1
	國方 康平	国方防虫(株)	2018／1
	妹尾 愛希	飛鳥グループ協同組合	2018／1
	高畑 裕介	(株)ライフスタイルギャラリー	2018／1
	田口 貴裕	五洋工業(株)	2018／1
	野田龍太郎	(株)優計コンサルタント	2018／1
	服部 悟	(株)服部管楽器	2018／1
	林 利光	山佐産業(株)	2018／1
	福永 涼人	日本リサイクル(株)	2018／1
	藤原 明裕	(株)ココピア	2018／1
	吉田 拓次	ハートキャリー(株)	2018／1
	若林 裕聖	SMILE INNOVATION	2018／1
	和田 晃司	(有)オオワダ	2018／1
後期新規入会者	上田憲一郎	(株)ベルテック	2018／7
	大北大士郎	(株)オオキタ・コーポレーション	2018／7
	岡崎 信英	マニユライフ生命保険(株)	2018／7
	小野祐一郎	近藤法律事務所	2018／7
	城戸 貴登	(株)T K S	2018／7
	小西 秀斉	(株)グラント	2018／7
	竹内 優子	(株)ケイ・ワイ・エス	2018／7
特別会員新規加入者	池岡 弘康	証明写真専門 ハロースタジオ	2019／1
	大瀧 健嗣	(有)大瀧餅	2019／1
	岡 恭弘	(株)三友建装	2019／1
	岡本 浩	(株)中井製作所	2019／1
	勝谷 満	岡山放送(株)	2019／1
	金沢 竜志	(株)三輪	2019／1
	鬼頭 孝暢	(株)セブンツーカンパニー	2019／1
	河野 初侍	河野建設(株)	2019／1
	笹倉 歩	クラブン(株)	2019／1
	佐藤 道康	A I U損害保険(株)	2019／1
	仲村 陽平	岡山Y's小児・矯正歯科	2019／1
	野上 昌範	(株)明建	2019／1
	坂 俊介	山陽放送(株)	2019／1
	広瀬 政子	広瀬運輸(株)	2019／1
	瓶井 潔英	(株)アーキスコープ	2019／1
	矢野 大輔	(株)ビーフィールド	2019／1
	吉本 昌弘	(株)橘香堂	2019／1

2.2018年度 公益社団法人 岡山青年会議所 組織図



【休会者】 木村

Ⅲ 出 向 者 報 告

公益社団法人 日本青年会議所

全国大会運営会議 運営幹事 中 村 彰 宏

本年度、全国大会運営会議の運営幹事として日本青年会議所へ出向させていただきました。出向自体が初めてながら、経験豊富な出向者の方々とともに全国を飛び回り、会議体や懇親会を進める中で本当に多くの気づきと学びをいただきました。

大会当日は台風の影響によるスケジュールおよび会場の変更で悔しい思いをする結果となりましたが、全ては宮崎に集まる卒業生のために大会を最後までやりきるという強い気持ちでメンバーと取り組んだ経験はかけがえのない財産となりました。やってきたことに無駄なことはなく、全てが来年の富山大会につながっていくのだと信じています。1年間貴重な経験をさせていただき誠にありがとうございました。

全国大会運営会議 運営幹事補佐 吉 本 昌 弘

本年度、全国大会運営会議へ出向させていただき、感じたことが3つあります。

1つ目は議長などをされた方々から、いつも労いの言葉と感謝の気持ちをいただきました。常に周囲への気配りを持つことの大切さです。

2つ目は、全国大会当日に急遽一から作り上げねばならなくなったこと。不眠不休で決して諦めることなく、前に進んでいく姿には感動させられましたし、今後の仕事への取り組み方に大きな影響を与えてくれました。

3つ目は仲間です。共に切磋琢磨し時には呑み合い、かけがえのない友に出会うことが出来ました。

出向でしか得られないものがあります。私はそれを今後の人生の宝物として卒業します。ありがとうございました。

全国大会運営会議 委員 広 瀬 政 子

本年度、公益社団法人日本青年会議所 2018年度 LOM支援グループ 全国大会運営会議に委員として出向いたしました。出向に関しては前年の経験もあり前向きではありましたが、宮崎という地での開催、卒業年度でありながらの全国大会を設営する会議、そして補佐としての立ち位置で出向するということに初めは戸惑いがありました。しかしながら次第にその気持ちはなくなりすぐに楽しめるようになったのも、出向先のメンバーや岡山から一緒に出向したメンバーに恵まれたからということに間違いはありません。出向はLOMの中以上に、自分の立ち位置は自分で確立できる機会だと私は思います。全国大会ではとても大変な思いもしましたが、反面とても良い出会いや経験を積むことが出来ました。3年という短い青年会議所活動の中で、2年間もこのような機会に恵まれたことを感謝しています。

全国大会運営会議 委員 大 岩 裕 季

本年度、公益社団法人日本青年会議所 LOM支援グループ 全国大会運営会議委員として出向させていただきました大岩裕季です。

青年会議所に入って半年過ぎた頃に出向の話をいただきまして、私で大丈夫なのか、そのような不安がありました。しかし、LOMの同じ出向のメンバー、LOMメンバーにも支えられ、この1年間でまっとうすることができました。

日本に出向することで、全国から集まった別LOMの皆様と交流を深めることが出来、その皆様とともに同じベクトルに向かって事業を成し遂げたことは、貴重な経験であり、多くの学びを得ることができました。

末筆にはなりますが、出向の機会をくださいました青木理事長、ありがとうございました。

全国大会運営会議 委員 林 俊 宏

本年度、公益社団法人日本青年会議所 LOM支援グループ 全国大会運営会議に委員として出向させていただきました。67回目の全国大会の運営側としてまた、運営幹事団の一員として岡山以外の他県のLOMメンバーと交流を持たせていただき、他LOMの事業やJC活動について意見交換する事が出来ました。そして沢山の方と出会う中でLOM内活動だけでは得る事が出来なかったと思われる、他県の方々との繋がりや多くの刺激的な経験をさせていただき、新たな考え方や世界が広がったと感じております。最後に、このような貴重な機会を与えていただきました理事長をはじめ、出向を支えていただいたLOMメンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。

渉外委員会 委員 清 友 利 昭

本年度、日本青年会議所 総務グループ 渉外委員会に出向させていただきました。大変感謝をしております。会頭公式訪問を始め、各地周年事業やA S P A Cなどは、設営側としても参加させていただきました。全国各地で開催される委員会に参加させていただき、実際に心からのおもてなしを体験させていただきました。また地元では、経験することができないようなテーマで、貴重な学びの機会になりました。この出向で多くの人たちと出会い、共に刺激し合い、共に成長できる多くの仲間を作ることができました。この学びと経験を今後の活動に生かし、益々の発展に貢献していきたいと思っています。この度は貴重な機会を与えていただいたことに心より感謝を申し上げます。

渉外委員会 委員 眞 田 優 作

本年度、日本青年会議所 総務グループ 渉外委員会に出向させていただきました。スタートは京都会議から始まり、会頭公式訪問、各地周年事業、A S P A C、サマコンと、今年は県外ミッションには設営側で携わらせていただき、大変勉強になりました。各地V Cの地元にて委員会が開催され、徹底されたおもてなしや日本に出向している人間しかできない事といったテーマで開催され、大変勉強になりました。毎回参加するのがとても楽しみで、参加すればするほど、各地域でいろいろな人と出会い、刺激しあえる仲間がたくさん出来ました。出向者として支援していただいた、青木理事長には大変感謝しております。1年間出向させていただきましたありがとうございます。

総務委員会 副委員長 小 林 佑 輔

2018年度総務委員会に副委員長として出向させていただきました。予定者段階でのマニュアルの作成、京都会議の設営や、各種会議の設営、議案のチェック等、日本青年会議所の運動が円滑に進む為に、各会議・委員会のフォローをさせていただきました。

今回で2回目の出向でしたが、スタッフとしての責務の重さ、立場や見方、考え方、担いが異なり、多くの学びに繋げることができましたし、多くの仲間に出会うことができました。私と共に出向してくれた加藤小幹事、香川委員、田所委員、矢野委員には色々支えていただき本当に感謝しております。

出向という機会をいただいた青木理事長をはじめ岡山青年会議所の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

総務委員会 小幹事 加 藤 高 明

本年度、公益社団法人日本青年会議所 総務グループ 総務委員会の小幹事として出向させていただきました。小林副委員長の小幹事ということで、L O Mとは異なる雰囲気の中、幹事業を行いました。全国のL O Mから出向者があり、小林小委員会においても、15名の全国津々浦々のメンバーが集まりました。年始は電話連絡ができていたメンバーでも夏以降になると電話連絡もつかず、出席確認にも苦労しました。そのような中、総務委員会の担いの一つである各所会議の設営に少しでも役立とうと、小林小委員会の出席率の向上に寄与してきました。総務委員会における多くの人財との交流は青年会議所活動を超え、今後の人生の糧になる、大変貴重なものでした。最後になりますが、出向を支えていただいた皆様に感謝申し上げます。

総務委員会 委員 香 川 陽 一

今年度、公益社団法人日本青年会議所 総務グループ 総務委員会に委員として出向させていただきました。予定者段階の地区事業説明会の設営にはじまり、京都会議、総会、理事会と年間通じて日本青年会議所の各種会議の設営に携わらせていただきました。その中で、L O Mとは違った運営方法を取っている部分の発見や、その良し悪しを感じ取ることができました。また、L O M活動だけでは体験することのできないことも数多く経験することができ、自身の成長に繋がったものと確信しております。今回の貴重な経験を糧に、今後のJ C活動に邁進していくとともに、出向させていただきました岡山青年会議所へもフィードバックできるよう活動してまいります。

総務委員会 委員 矢 野 大 輔

本年度、総務委員会に出向させていただいた最大の目的は、日本青年会議所で行われている青年会議所運動の議案を取りまとめ、管理する立場から学び、持ち帰ることで、岡山青年会議所の活動をより有意義で価値の高いものにすることでした。日本青年会議所で議論されている様々な議案に触れる中で、自身の青年会議所の活動に対する意識の向上、学びにもつながりました。また、岡山青年会議所でも次年度以降導入していくアジェンダシステムのマニュアルを作成する中で、議案審議に至るまでの効率化や正確性に関して、深く考える時間につながりました。岡山青年会議所とは少し違った角度から学びを得ることができますので、チャンスのある方は是非出向していただきたいと思います。

技術開発投資推進委員会 委員 前 田 淳

本年度、公益社団法人日本青年会議所 日本創生グループ 技術開発投資推進委員会 委員として出向させていただきました。当委員会では、高齢化や人口減少に伴い労働生産性の低下が懸念されている日本において、最先端技術を用いて改善した企業と改善したい企業をマッチングするフォーラム等を実施させていただきました。今まで経験しなかった分野に触れることで視野が広がり自分自身、成長したことを実感しております。また、全国各地のL O Mメンバーと交流することで岡山青年会議所の素晴らしさを再確認することも出来ましたし、なにより全国各地に友人が出来たことはかけがえのない財産となりました。この経験を活かし、今後の岡山青年会議所の発展に寄与していきたいと思います。最後になりますが、日本出向という貴重な機会を与えていただき誠にありがとうございました。

道德教育推進委員会 委員 大 瀧 健 嗣

本年度、公益社団法人日本青年会議所 道德教育推進委員会に委員として出向させていただきました。祖先や親を敬う道德心を確立することを目的とし活動を行いました。主な事業といたしましてはサマーカンファレンスでの「おもちゃのフリマ d e 宝探し!？」でした。使わなくなったおもちゃの交換を行うことによって、子供たちに物への心遣いを目覚めさせ、さらには自分自身や周りの人を大切にすることにつながって欲しいと想い活動しました。全国各地の青年会議所メンバーとの絆を深めることだけではなく、同期入会の藤井委員と共に出向させていただき、さらに同期の絆を深めることができました。最終年度に日本青年会議所への出向という機会を与えていただき誠にありがとうございました。

道德教育推進委員会 委員 藤 井 彰 一

本年度の出向先は道德教育推進委員会でした。サマコンにて子供向けにおもちゃのフリーマーケット・おもちゃドクターのおもちゃ修理を事業として行いました。お子様連れご家族の方用にブース内での道德カルタや日本の歴史をつづった紙芝居なども作成し、道德教育について様々な角度から伝えられたと思います。

また、西日本豪雨の際は多くの出向先メンバーから心配の声をもらいました。震災1ヵ月後には出向先メンバーと真備の地にてボランティア活動を行い、県を超え助け合う精神を、身を持って感じました。

委員会では各L O Mで様々な経験を経て出向している方が多く、各会での学びが豊富でした、この経験を岡山青年会議所に還元できるように引き続き精進してまいります。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会

直前会長 佐 野 範 一

公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会直前会長として出向させて頂き、会長とは違った視点で協議会を見ることができました。

様々なL O Mからの出向者で成り立つ地区協議会は、人との出会いや切磋琢磨を通じて、L O Mとは違った多くの成長の機会があります。出向先で共に過ごしたメンバーを見ると、予定者段階の一年前に比べて顔つきが違います。改めて出向は、成長できる最強のツールだと確信しました。

また、中国地区協議会は、岡山青年会議所が支えていると言っても過言ではありません。2018年も多く同士に出向して頂きました。最後の年に、共に活動できたことは、私にとって最高の思い出となりました。

結びに、支えて頂いた補佐チームの砂古君・五十嵐君には、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

佐野直前会長補佐 五十嵐 尚 輝

本年度、公益社団法人日本青年会議所 2018年度中国地区協議会 佐野直前会長幹事として出向させていただきました。至らぬ点が多々あったかと思いますが、一緒に出向されたメンバーの支えがあり1年間務めることが出来ました。佐野直前会長からは、沢山のお話を聞くことができ残りの歴が長い私にとっては非常に良い経験をする事ができました。そして直前会長と各地に赴く中で、中国地区各L O Mから出向されているメンバーと交流を深めることができ、また他L O Mと岡山との違いなども知ることができました。今回いただいた貴重な経験を今後のJ C活動に繋げていきたいと思っています。このような機会を与えていただいた青木理事長、そして佐野直前会長ありがとうございました。

佐野直前会長補佐 砂 古 和 宏

今年度、佐野直前会長幹事として中国地区協議会へ出向させていただき、まずは感謝申し上げます。1年間出向させていただいて良かったことは、普段経験できない体験をできたことです。

西日本を幅広く移動し、行った事の無い地域に行けて、それに伴う移動や宿泊の段取りの大変さが経験できたこと。中国地区の役員会議で、事業に対するレベルの高い内容の会議を聞かせていただいたこと。直前会長から私が知らないJ Cの昔話や仕事の話を間近で聞けたこと。現地の名産物で美味しい食事をいただいたことなど沢山経験させていただきました。今後の青年会議所活動や仕事に活かして、いつか私が連れて行ける立場になれることを目指して精進したいと思います。

副会長 仲 村 陽 平

中国地区協議会に副会長として出向の機会をいただきました事、改めて青木理事長に感謝申し上げます。また、副会長幹事として共に出向してくれた松田・津島両名にも改めてこの場を借りて感謝いたします。

初めての中国地区協議会への出向、歴の少ない私であっても、諸先輩方の功績の上に私が副会長という役職をいただけた事に対し、中国地区5県をこの1年間一生懸命駆け巡らせていただきました。

また、地区コンファレンスの構築だけではなく、7月に発災した西日本豪雨による救援物資輸送・人的支援など、中国地区の存在意義を感じる事も多くあり、卒業年度に通年の事業だけでは得られない経験を体感し、多くの学びをこの出向で得ることができました。

副会長補佐 松 田 龍乃輔

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会に副会長補佐として出向をさせていただきました。仲村副会長と共に様々な会議や事業に参加するため中国地方の各所を巡らせていただきました。その中で改めて気づかされたのは私たちが住む中国地方というのは魅力的なリソースに恵まれた地域だということです。地方創生というフレーズを耳にすることが多い昨今ですが、今回の中国地区協議会への出向で得られた学びや気づきを今後の青年会議所活動にも活かしつつ、更に中国地方の地域発展への寄与も微力ながら行えればと考えるようになりました。このような大変貴重な勉強の機会をいただきまして、本当にありがとうございました。

副会長補佐 津 島 周 史

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会に副会長幹事として出向をさせていただきました。幹事という相手のことを慮る経験をさせていただいたことは今後の青年会議所活動はもとより仕事などにもいかせる貴重な経験でした。また、仲村副会長と共に様々な会議や事業に参加するため中国地方の各所を巡らせていただいた中で改めて気づかされたのはその地方ごとに名所や食物を始めとして魅力的なリソースが豊富にあることでした。この各地方を回ることによって色々感じたこと・気づいたことをしっかり持ち帰って、郷土岡山の発展に寄与したいと強く感じました。最後に今年度出向をさせていただき、このような大変貴重な勉強の機会をいただきまして、本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会

副会長 野 上 昌 範

2018年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会に副会長として出向させていただきJ C運動戦略会議を担当させていただきました。県内15LOMの会員拡大のご支援ご協力、情報発信のホームページやSNS等を担当する委員会でしたが、メンバーにも積極的に参加いただき、素晴らしい成果を生みだしてくれたと考えます。また、役員団の方々も素晴らしい人材ばかりで、出向しないとわからない貴重な経験をさせていただき感謝しかありません。このような機会を与えていただきました青木理事長はじめメンバーの皆様、また何より1年間幹事を務めていただいた佐藤道康君、武元浩君に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

副会長幹事 佐藤道康

本年度、公益社団法人日本青年会議所 2018年度岡山ブロック協議会 野上副会長幹事ならびにJC運動戦略会議委員として出向させていただきました、佐藤道康と申します。

出向ではブロック協議会の理事会に参加することで事業運営までに携わる多くの方々の尽力を垣間見ることができました。また、たった2年のJC生活の中で他LOMの方々と関われる機会をいただけたことで貴重な出会いを多く経験できました。これらは出向という機会を与えられなければ触れることができなかった大きな財産です。

この度は貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

副会長幹事 武元浩

公益社団法人日本青年会議所 2018年度 中国地区岡山ブロック協議会 野上副会長幹事ならびにJC運動戦略会議委員として出向させていただきました、武元浩と申します。

今年は岡山ブロックに出向させていただいたことで、ブロック協議会の役員会議と委員会両方に参加でき、ブロックの全体の流れと委員会の流れ両方経験する事ができ、本当にいい経験ができました。また、去年は中国地区協議会の会長幹事、来年は日本青年会議所にも出向させていただくこととなりましたので、この経験をいかして皆さんにブロック、地区、日本の良さを伝える事が出来るようにこれからも一生懸命頑張ります。

この度は貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

JC運動戦略会議 副議長 綾部健二郎

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会のJC運動戦略会議に副議長として出向させていただきました。拡大と広報を主な担いとして、会員会議所会議での拡大会議の実施や、ホームページ・SNSの更新を行いました。また、ブロック事業の際には「SMILE by WATER」の支援金募集の活動を行いました。ブロックAWARDS・卒業式の設営という重要な事業の設営も担当させていただきました。他LOMに多くの仲間が出来たことはもちろん、副議長という立場で出向をさせていただくことで高い意識で出向に取り組むことができたことを感謝しております。この度は貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

JC運動戦略会議 委員 柴田 収

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 JC運動戦略会議において、委員として出向させていただきました。

同会議では、スマイルバイウォーター運動、会員拡大に関する情報共有、拡大活動に関する褒賞等を行いました。ブロック協議会へは2015年に出向して以来、2度目の出向となります。前は監査担当役員幹事という立場で出向したため、役員会議や会員会議所会議にオブザーブ出席をしてブロックの運営がどのようになっているかを学びましたが、今回は委員会に配属され、委員会がどのように運営されるかを知ることができました。

2019年は最終年度となります。今回の出向で学んだことを、次世代のメンバーに伝えていく所存です。

主権者意識確立委員会 副委員長 佐藤史成

公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会の主権者意識確立委員会へ副委員長として出向をさせていただきました。当委員会では、メディアのニュースなどで「憲法改正」というワードや情報が少しずつ流れている昨今に日本人として自国の憲法について学び考え主権者意識を確立させるためには何をすれば良いのかというテーマで活動を行いました。具体的には、憲法に自衛隊明記をした方が良いかというテーマでディベートを行い、また専門家をお招きして憲法についての知識を深める講演会事業を実施させていただきました。副委員長という立場で委員会に参加したことで憲法に対する意識や知識が向上したことはもちろん事業を通じて多くの仲間が出来たことに感謝しております。

主権者意識確立委員会 委員 笹倉 歩

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 主権者意識確立委員会に出向させていただきました。当委員会では憲法について啓蒙活動を行うという、難しい課題に取り組む委員会でありましたが、参加メンバーが積極的にアイデアを出し、ディベート形式という新たな手法で事業を盛り上げることができました。他LOMメンバーとも交流ができたことは私にとって貴重な機会をいただけたとありがたく感じております。最後に岡山ブロック協議会への出向に関しまして、ご支援いただいたメンバーの皆様に感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

輝く人材育成委員会 副委員長 幡 山 益 聖

今年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 輝く人材育成委員会に副委員長として出向させていただきました。

3月に新会員研修大会、5月に岡山ブロック大会フォーラム、9月にブロックアカデミーの設営と多くの事業があり、毎月の委員会や事前準備など、各地会員会議所より出向している方と多くの時間を共有することができました。

県内には様々な考えを持ちながら青年会議所活動をされている方がいて、初の出向でしたが本当にいい経験ができ、新たな学びや多くの仲間ができたことはかけがえのない財産になりました。

今後出向の機会がありましたら、LOMの事業を疎かにせず、活動してまいりたいと考えています。1年間ありがとうございました。

輝く人材育成委員会 委員 池 岡 弘 康

公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 輝く人材育成委員会へ出向させていただきました。当委員会はブロックでの研修を担いとし、「和」の精神を兼ね備えた輝く人材の育成を合言葉に新会員研修会の開催及び研修の実施、ブロックアカデミーの実施を主に活動して参りました。志を同じく出向した各地会員会議所メンバーと、事業を通じて心を通わせ目的に向かい意見を出し合い、また額に汗して活動することでかけがえのない友情を育むことができたと感じます。ブロック出向はこの愛してやまない郷土岡山にこれだけ多くの仲間がいるのだということを改めて気付かせてくれる、自分を鼓舞できる貴重な場です。出向の機会をいただきまして大変感謝申し上げます。

稼ぐ地域創生委員会 副委員長 嶋 田 昌 浩

私は、2018年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 稼ぐ地域創生委員会へ副委員長として出向させていただきました。本委員会は、地域経済の活性化を目的とし、地域の新たな特産物を生み出すことを目標に掲げて活動いたしました。そして、岡山県全LOMの名産物を盛り込み、岡山県全体が活性化でき、地域住民がソウルフードとして愛することのできるものとして立案された「おかやまき」と言う巻き寿司を完成し、ASPACEをはじめ岡山県下の様々なお祭りやイベントにブース出展し商品化を進めてまいりました。その過程で得た経験や知識を、出向させていただいた岡山青年会議所での今後の活動にいかし邁進して参ります。

稼ぐ地域創生委員会 委員 大 饗 千 鶴

この度は出向をさせていただき誠にありがとうございました。ASPACE鹿児島大会での飲食ブースの出店のための商品開発をすることが委員会の事業でした。岡山県産の材料を使った「おかやまき」という商品を開発し世界中の来場者の方々に食べていただきました。そしてこのレシピを岡山県内の飲食店へPRさせていただき、メニューに取り込んでいただくことで岡山名物として普及していきたい、ということも目的の一つでした。自分達で調理実習を開催し、商品決定に至るまでの意見交換も何度となく行われました。その経緯を通じて、委員会メンバーの絆が強くなることができました。この経験と絆を活かし次年度以降も岡山青年会議所活動により一層邁進してまいります。

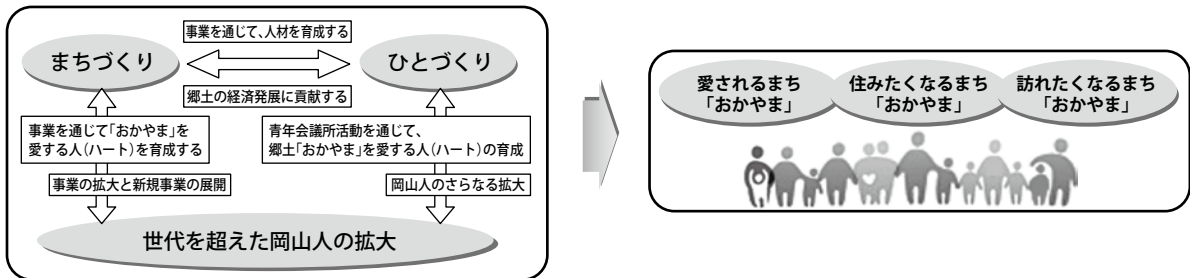
長期ビジョンスローガン

心から心の育成 ハートtoハート『おかやま』

～世代を超えた岡山人の伝承へ～

岡山青年会議所は事業を通じて、岡山人育成に力を入れていきました。岡山人育成の活動を広げていくためには、その活動を多くの人に理解してもらうことが重要です。今後は、岡山人のハート（心）に訴え、世代を超えて育成することが必要であると考えております。

長期ビジョンの考え方



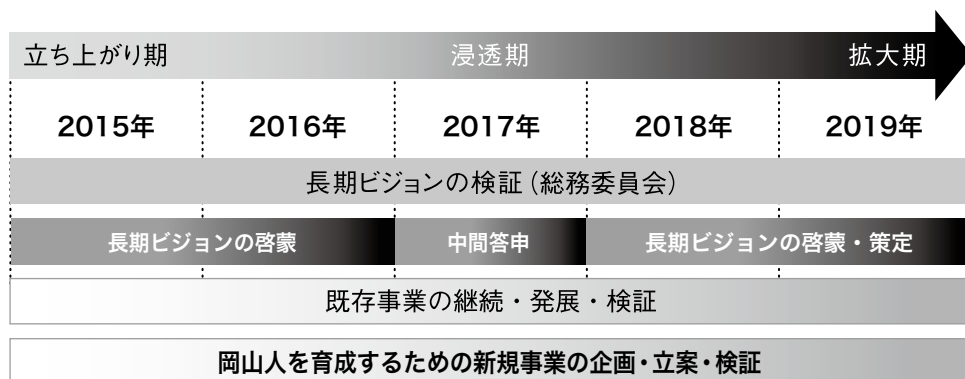
ひとづくり

青年会議所活動を通じて、岡山青年会議所会員自身の成長の場として活動し続け、郷土『おかやま』の発展のために行動できる人材の育成、また、青年会議所活動を経験した人材を輩出しさまざまな世代で活躍する人材の育成に繋がります。そして、郷土『おかやま』を愛する心を持つ者「岡山人」として様々な場面で世代の枠を超えた活動を共に展開する事により、世代を超えた「岡山人」の拡張、伝承を目指します。

まちづくり

青年会議所運動で培った能力を発揮して多くの「岡山人」と係わり、世代を超えた『おかやま』を愛する人（ハート）との繋がりを拡張、育成を積極的に行います。
また、郷土に思いのある方々と連携を行い、今まで以上に広がりのあるまちづくり事業を展開する事を目指します。

長期ビジョンアクションプログラム



- 年間10名以上の純増を目指し、2019年当初120名の会員を得ることを目標とする。
- 市民・他団体との連携を模索しつつ事業の企画・運営を行う事により、様々な世代との交流を通して『岡山人』育成の一助とする。
- 「うらじゃ」への協力を行う。

※ビジョン推進会議の設置

2017年に中間答申として2015年、2016年における事業に対する検証を行う。
2018年、2019年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョン達成した点、達成しなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

Ⅳ 委員会活動報告

共感溢れるまちおかやま創出委員会

關 和 敏

本年度、青木理事長より共感溢れるまちおかやま創出委員会の理事委員長を拝命し、委員会メンバーと共に共感溢れるまちおかやまの創出に向け邁進して参りました。

「どんぶらこプロジェクト」では我々若年層世代が中心となり郷土「おかやま」にしかない魅力を最大限掘り起こし、企業の皆様を巻き込むことにより共感の輪が広がるおかやまの魅力創出に繋げることができ、「おかやま」の県内、県外、海外にも「おかやま」の魅力を発信することができました。協賛においても、メンバー一丸となりこれまでにない協賛を獲得できました。

また、「キッズビジネスパーク2018～夢いっぱいのお仕事チャレンジ～」では、本年度より、(一社)カンコー教育ソリューション研究協議会との共同開催となり、今後3か年計画での移譲を踏まえ、初年度を無事終えることができました。参加児童、保護者、ボランティア、そして企業の皆様、関係諸団体の方々には満足していただいた事業と考えております。

最後になりましたが、この様な大変貴重な経験をさせていただきました青木理事長、優しく何時も見守ってくれました岸副理事長をはじめ執行部の皆様、共に活動をしてきました委員会メンバー、そして現役会員におかれましては心から感謝申し上げます。また、両事業にご協賛を賜りました先輩諸兄におかれましても、重ねて厚く御礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

まちづくり委員会

平 田 知 之

本年度青木理事長が掲げる「Brave Challenge 共感溢れる新時代へ!」のスローガンのもと、まちづくり委員会は共感溢れる地域の創出を意識し「第25回うらじゃ」「うらじゃ開催支援広告協賛事業」そして「ミッキーパレード キッズダンサー事業」を実施しました。「第25回うらじゃ」では総務部会という立場にて活動し運営手法を学ばせていただきました。豪雨災害や近年稀にみる猛暑により開催が危ぶまれる状況ではありましたが、対策を考え行政機関との交渉を重ねることによって、大きな事故もなく開催することが出来ました。「うらじゃ開催支援広告協賛事業」では新規獲得を目指す企業だけではなく、これまでに協賛していただいている企業にも「うらじゃ」の魅力を理解していただけるように活動することで、より多くの地元企業に「うらじゃ」への想いを共感していただくことが出来、共感溢れる地域の創出に繋がる事業が行えたと考えます。「ミッキーパレード キッズダンサー事業」では35周年を迎えるディズニーとのコラボレーションを実現し、参加した小学生そして多くのディズニーファンを巻き込むことで、より大きな共感の輪が創出出来たと考えております。最後に様々な場面での確かなアドバイスをいただきました諸先輩方、そして各事業に際して全力でサポートを頂いた岸副理事長はじめ現役の皆様へ御礼申し上げます委員会事業報告とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

渉外委員会

杉 大 和

本年度、青木理事長より渉外委員会の委員長を拝命し、「～Brave Challenge～共感溢れる新時代へ!」のスローガンのもと、友好LOMとの交歓会など受番の多い本年度の事業に、渉外委員会メンバー全員で取り組ませていただきました。

予定者段階での中国地区・岡山ブロックへの出向者支援ナイトに始まり、京都会議出向者支援LOMナイト、岡山ブロック大会、サマーコンファレンス出向者支援LOMナイト、地区コンファレンス、全国大会出向者支援LOMナイトそして、大阪交歓会、広島交歓会、津山交歓会、倉敷交歓会などの各交歓会の設営をさせていただき、青年会議所の根底とも言える友情を育む機会の提供をさせていただきました。「共感」というキーワードを軸におもてなしをする相手の趣味嗜好を徹底的に調べ上げ、委員会のフォロワーメンバーからも様々なおもてなしのアイデアを提案し、渉外委員会メンバーが回数を追うごとに成長しながら事業を実施させることができました。

交流室を担当していただきました小林副理事長、磯島常任理事におかれましては、経験値の浅いメンバーが多いこの渉外委員会メンバーに対し、多くの学びや気づきを与えていただき、1年間温かく見守っていただきまして誠にありがとうございました。最終最後まで渉外委員会を支えてくれました委員会のメンバーに皆様に感謝を申し上げ委員会の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。

例会委員会

金 沢 竜 志

本年度の例会委員会は、岡山青年会議所をパワーブランドとして確立する例会の企画、運営。そして、例会を通して効果的な青年会議所活動を生み出し、郷土「おかやま」に共感の輪を広げる運動をメンバー同士が共有することができる会を設営することを、例会委員会の責務として青木理事長の下、1年間活動して参りました。

先輩から連綿と受け継ぎ、築き上げてきた「おもてなし」の精神。まずは、相手の事を一番に考え、相手の喜びを自分の喜びとし、例会を精神誠意設営し、迎える「おもてなし」の精神より育まれる友情をもって、自己成長を実現することが岡山青年会議所のこだわりであり、また不易でもあります。このこだわりや不易を軸に、我々にしかできない、そしてひとに徹底的にこだわり高い熱量をもって本年度は例会を設営することができました。

結びに、岡山青年会議所は言わずと知れた、ひとにこだわり、そしてまちづくりを担う団体であります。自分を信じ、そして仲間を信じ、価値を高める様々な活動を積極的に実践できたのも、すべてはご支援を賜った皆様方のお陰でございます。紆余曲折はありながらも互いを尊重し、一人一人が未来を見据えた知識、見識、胆識をもって活動してくれた委員会メンバー、そして多くのご指導、ご鞭撻、そして叱咤激励を賜りました特別会員の皆様に心より感謝申し上げます、1年間の報告とさせていただきます。

岡山J C パワーブランド確立委員会

石 井 聖 至

本年度、青木理事長が掲げられる『Brave Challenge 共感溢れる新時代へ!』のスローガンのもと、『拡大』と『広報』2つの担いをいただきました。

拡大については、セミナーの開催を主に、委員会メンバー丸となり、情報収集から地道な勧誘活動を続けてまいりました。そして、特別会員や現役メンバーの皆様より多大なるご協力をいただけたおかげで、多くの新しい仲間を入会につなげる事ができました。

また、広報活動においては、例年行っておりますHPの制作、暖流の発行だけでなく、本年度はSNSの活用、地域情報誌PLUGにメンバー紹介を掲載するなど、時代に即した広報活動も行い、多くの市民の皆様に関心や活動内容を知っていただく機会を創造してまいりました。

当委員会は常に、今の岡山青年会議所だけではなく、未来の岡山青年会議所が、より存在感を増し、愛する郷土おかやまが、今まで以上に明るい豊かな社会となるよう意識し活動してまいりました。

1年間様々なことがありましたが、常に私のことを支え続けてくれた最高のスタッフとメンバーに恵まれ、楽しい1年を過ごすことができたことに、今は感謝の想いしかありません。

最後になりますが、このような機会を与えていただきました青木理事長、ご指導をいただきました古市専務理事、仲村常任理事、ご支援ご協力を賜りました特別会員、現役会員の皆様に心より感謝申し上げます、本年度の活動報告とさせていただきます。

総務委員会

高 山 晃 一

本年度、総務委員会では、歴の浅いメンバーがLOMの大半を占める中で、公益社団法人の名に恥じない「清く正しい組織運営」を念頭に、不易と流行を考え、引き継ぐべきものと変えるべきものを見分け、新たな岡山青年会議所の基礎を築くべく、組織運営を展開して参りました。そして、青木理事長が掲げられた、「コンプライアンスの徹底された、社会的信用のある団体」として、岡山青年会議所の価値を高めることを意識して活動をして参りました。

またLOMの要として、委員会だけにとらわれず、メンバー全員と情報共有し、各事業の上程では、事業計画書や事業報告書の内容を吟味し、理事長所信に沿っているかを検証して参りました。そしてその事業が自信を持って審議を通過できるよう、的確な助言を行うことで、多くの事業を目的の達成へと導くことができました。

メンバーと共に担いを行う中で、ルーティンの作業委員会で終わることなく、常に学びの場となり、メンバーが能動的に行動できるよう委員会運営をすることで、メンバー全員の成長につながったと確信しております。

結びになりますが、我々が新たな岡山青年会議所を見据えて活動ができたのも、いつも方向を示していただいた青木理事長をはじめ、支援を賜った関係者の皆様のおかげです。そして何よりも、いつも前向きに活動してくれた委員会メンバーと、多くのご指導、ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様に心より感謝申し上げます、1年間の報告とさせていただきます。

V 会 議

1. 総 会

■第1回定時総会

開 催 日 時 2018年3月17日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 96名

出席した会員数 96名

内訳 本 人出席94名

委任状出席 2名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 事業報告(案)に関する件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 決算報告(案)に関する件
3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 修正予算(案)に関する件

■第2回定時総会

開 催 日 時 2018年7月4日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 105名

出席した会員数 105名

内訳 本 人出席 99名

委任状出席 6名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度理事選任及び理事長の推薦(案)に関する件

■第3回定時総会

開 催 日 時 2018年7月18日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 106名

出席した会員数 106名

内訳 本 人出席100名

委任状出席 6名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事の推薦(案)に関する件

■第4回定時総会

開 催 日 時 2018年8月8日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 103名

出席した会員数 103名

内訳 本 人出席 97名

委任状出席 6名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 理事の選任(案)に関する件

■第5回定時総会

開 催 日 時 2018年12月19日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 103名

出席した会員数 90名

内訳 本 人出席 90名

委任状出席 13名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 事業計画（案）に関する件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 収支予算（案）に関する件
3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 組織図（案）に関する件

■第1回臨時総会

開催日時 2018年1月11日（木）
開催場所 岡山国際ホテル
総会員数 96名
出席した会員数 96名
内訳 本人出席 90名
委任状出席 6名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 監事選任（案）に関する件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 特別顧問選任（案）に関する件

2. 理 事 会

■第1回 執行部・理事合同会議

日時：2018年1月5日（金）17:00～19:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）監事選任（案）に関する件
（2）特別顧問選任（案）に関する件
（3）2018年度組織図の改定（案）に関する件
（4）公益社団法人岡山青年会議所2018年度前期入会予定者名簿（案）に関する件
（5）会員資格規定第3条第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）に関する件
（6）JCルーム備品購入並びに環境改善に関する事業計画（案）に関する件

■第2回 理事会

日時：2018年2月19（月）19:00～21:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）会員データシステム構築の事業計画書（案）に関する件
（2）公益社団法人岡山青年会議所2017年度決算（案）に関する件
（3）公益社団法人岡山青年会議所2018年度修正予算（案）に関する件

■第3回 理事会

日時：2018年3月19日（月）19:00～21:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）共感溢れるおかやま創出プロジェクト事業計画（案）に関する件
（2）うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業計画（案）に関する件
（3）2018年度ミッキーパレードキッズダンサー事業の事業計画（案）に関する件
（4）4月企画例会開催の事業計画（案）に関する件

■第4回 理事会

日時：2018年4月23日（月）19:00～21:20
場所：JCルーム
審議事項
（1）2018年度公益社団法人日本青年会議所出向者（案）に関する件
（2）特別会員、現役会員合同新年賀詞交換会の事業報告（案）に関する件

■第5回 理事会

日時：2018年5月14日（月）19：00～20：40

場所：J C ルーム

審議事項

- （1）第47回一般社団法人大阪青年会議所 公益社団法人岡山青年会議所交歓会事業計画（案）に関する件（後日メール審議）

■第6回 理事会

日時：2018年6月4日（月）19：00～20：20

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）2018年度前期新会員の後期委員会配属（案）に関する件
（2）2018年度 組織図（案）に関する件
（3）キッズビジネスパーク事業計画（案）に関する件

■第7回 理事会

日時：2018年7月4日（木）16：00～17：50

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 後期入会審議（案）に関する件
（2）会員資格規定 第3条 第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）に関する件

■第8回 執行部・理事合同会議

日時：2018年7月18日（水）16：00～17：05

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 後期入会審議（案）に関する件
（2）2018年度 執行部（案）に関する件
（3）投票によって選任される理事の定数（案）に関する件

■第9回 執行部・理事合同会議

日時：2018年8月6日（月）19：00～21：00

場所：J C ルーム

審議事項

- （1）4月企画例会の事業報告（案）に関する件
（2）共感溢れるおかやま創出プロジェクトオープニングセレモニー事業計画（案）に関する件
（3）9月第二例会 特別会員・現役会員合同例会・懇親会の事業計画（案）に関する件
（4）市民公開例会（10月例会）開催の事業計画（案）に関する件
（5）一流ビジネスマン創造セミナー事業計画（案）に関する件
（6）後援追加の事業計画（案）に関する件

■第10回 執行部・理事合同会議

日時：2018年9月5日（水）16：00～16：20

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）第47回一般社団法人大阪青年会議所 公益社団法人岡山青年会議所交歓会事業報告（案）に関する件

■第11回 執行部・理事合同会議

日時：2018年9月25日（火）19：00～19：30

場所：J C ルーム

審議事項

なし

■第12回 理事会

日時：2018年10月22日（月）19：00～19：15

場所：JCルーム

審議事項

（1）12月第一例会 さよなら例会開催の事業計画（案）に関する件

■第13回 理事会

日時：2018年11月19日（月）19：00～21：00

場所：JCルーム

審議事項

（1）9月第二例会 特別会員・現役会員合同例会・懇親会の事業報告（案）に関する件

■第14回 執行部・理事合同会議

日時：2018年12月3日（月）15：00～18：00

場所：JCルーム

審議事項

（1）共感溢れるおかやま創出プロジェクト事業報告（案）に関する件

（2）共感溢れるおかやま創出プロジェクトオープニングセレモニー事業報告（案）に関する件

（3）うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業報告（案）に関する件

（4）市民公開例会（10月例会）開催の事業報告（案）に関する件

（5）一流ビジネスマン創造セミナーの事業報告（案）に関する件

（6）「PLUG」掲載の事業報告（案）に関する件

（7）2019年度 基本資料（案）に関する件

■臨時理事会

なし

Ⅵ 例 会

開催日	会 場	出席者	記 事
1月11日	岡山国際ホテル	92名	特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会 新会員バッジ授与式
2月 7日	岡山プラザホテル	89名	新会員3分間スピーチ 新会員コミュニティ
3月 7日	岡山プラザホテル	91名	第1回定時総会
3月20日	岡山プラザホテル	94名	ブロック会長公式訪問例会
4月11日	岡山プラザホテル	92名	企画例会
5月 9日	岡山プラザホテル	88名	
6月13日	岡山プラザホテル	93名	配属コミュニティ
7月 4日	岡山プラザホテル	99名	第2回定時総会（次年度理事長推薦） 新会員バッジ授与式
7月18日	岡山プラザホテル	100名	第3回定時総会（次年度執行部推薦） 理事選挙チャレンジスピーチ
8月 8日	岡山プラザホテル	97名	第4回定時総会（次年度理事委員長推薦） 新会員3分間スピーチ
9月 5日	岡山プラザホテル	89名	新会員コミュニティ
9月20日	岡山プラザホテル	97名	OB合同例会
10月10日	岡山プラザホテル	96名	
11月11日	岡山プラザホテル	98名	出向者報告
12月 5日	岡山プラザホテル	100名	さよなら例会
12月19日	岡山プラザホテル	90名	第5回定時総会

Ⅶ 諸 事 業

開 催 日	記 事
1 月 5 日	新年参拝（最上稲荷）、新年挨拶廻り
1 月 1 1 日	新年賀詞交換会（岡山国際ホテル）
1 月 1 8 日～2 2 日	京都会議（京都国際会議場）
2 月 6 日	歴代理事長会議（荒手茶寮）
3 月 1 7 日	岡山ブロック協議会新会員研修会（岡山プラザホテル）
3 月 2 0 日	岡山ブロック協議会会長公式訪問例会（岡山プラザホテル）
4 月 9 日	さくらカーニバル後の清掃（旭川河川敷）
4 月 2 8 日	岡山ブロック会員懇親野球大会（玉野）
5 月 1 0 日	岡山ブロックじゃがいも大会（美作）
5 月 2 4 日～2 7 日	A S P A C（鹿児島）
6 月 9 日	親睦事業（前島）
6 月 2 2 日	大阪 J C ・岡山 J C 交歓会（岡山）
6 月 1 7 日	岡山ブロック大会（笠岡）
7 月 9 日～1 3 日	国際アカデミー（姫路）
7 月 2 1 日～2 2 日	サマーコンファレンス（横浜）
8 月 4 日～ 5 日	第 2 5 回うらじゃ
8 月 1 8 日	観光地クリーン運動（石山公園）
8 月 2 5 日～2 6 日	中国地区球技大会（平田）
9 月 3 日	高松 J C ・岡山 J C 交歓会（高松）
9 月 7 日～ 8 日	中国地区コンファレンス（鳥取）
9 月 1 7 日	岡山ブロックサッカー大会（水島緑地福田公園サッカー場）
9 月 2 0 日	特別会員・現役会員合同例会
9 月 2 4 日	キッズビジネスパーク（コンベックス岡山）
9 月 2 9 日	ブロックアカデミー（百間川）
1 0 月 6 日～ 7 日	全国大会（宮崎）
1 0 月 8 日	どんぶらこプロジェクトオープニングセレモニー
1 0 月 2 3 日	津山 J C ・岡山 J C 交歓会（岡山）
1 0 月 2 4 日	1 0 月一流ビジネスマン創造セミナー（講師：高木 晶悟氏）
1 0 月 3 0 日～1 1 月 3 日	世界会議（ゴア）
1 1 月 1 7 日	5 3 年生追い出し旅行（倉敷）
1 1 月 2 4 日	ブロック本次年度合同引継ぎ（岡山プラザホテル）
1 1 月 2 2 日	岡山ブロック J C O B 会（岡山プラザホテル）
1 2 月 5 日	さよなら例会（岡山プラザホテル）
1 2 月 1 9 日	クリスマス家族会（岡山プラザホテル）

VIII 褒 賞 関 係

1. 褒章委員会

最優秀委員会 総務委員会

優秀委員会 会員研修委員会、共感溢れるまちおかやま創出委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

青木 浩平、岡部憲一郎、野上 昌範、岸 紘史、小林 佑輔、古市聖一郎、
磯島 慈海、仲村 陽平

【会員研修委員会】

井戸 啓太、幡山 益聖、竹田 直也、大塚 真弘、河内 浩晃、野田龍太郎、
野本 智也

【共感溢れまちおかやま創出委員会】

關 和敏、安部 真良、池岡 弘康、二垣 幸広、鬼頭 孝暢、清友 利昭、
田口 貴裕、畑 利昌、馬場 紀行、広瀬 政子、藤原 昭裕、瓶井 潔英

【まちづくり委員会】

林 俊宏、中山 友二、五十嵐尚輝、林 利光

【渉外委員会】

杉 大和、前田 淳、大饗 千鶴、岡本 浩、澤畑 優太、高畠 祐介、
田所 敦史、津島 周史、服部 悟、坂 俊介、山畑 和久、和田 晃司

【例会委員会】

金沢竜志、本多高明、藤原由季子、入江清晃、國方康平、河野初侍、吉田拓次、
吉本昌弘、

【岡山JCパワーブランド確立委員会】

石井 聖至、大瀧 健嗣、加藤 高明、嶋田 昌浩、三垣 章一、佐藤 一弥、
立岡 海人

【総務委員会】

高山 晃一、綾部健二郎、中村 彰宏、大森 将平、蒲原 智樹、柴田 収、
松田龍乃輔、三宅 信也、矢野 大輔

岡山 J C 設立趣意書

1. 経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。吾々はこの意義と誇りの重責に答えんとしここに岡山青年会議所を設立せんとする。
2. 急迫せる国際情勢下郷土の産業経済的發展、日本経済の再建にたずさわる吾等青年実業家の任務はまことに重大である。吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同士を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。
3. 国際経済を離れて日本経済は成立しない。吾等は日本青年会議所を通し、国際青年会議所の精神をわがものにし、国際親善に志し世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與し経済活動における人道的世界観を築きもつて祖国日本郷土岡山のあやまりなき再建にいささか貢献せんとする。

(1951年2月6日 創立総会)

